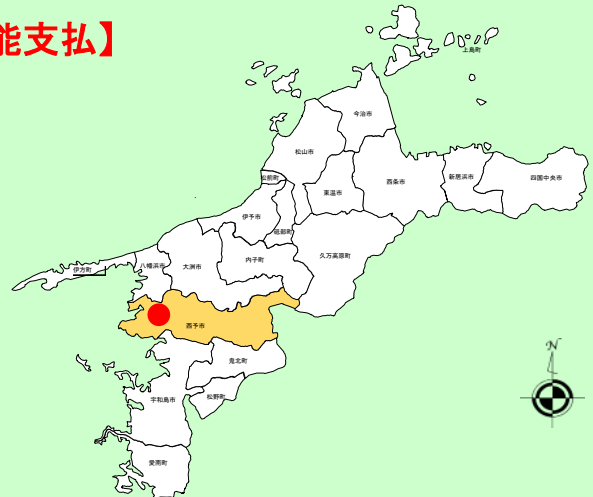


令和6年度 多面的機能発揮促進事業
中国四国農政局長表彰 優秀賞組織（愛媛県）

【多面的機能支払】

もくしよ せいよし
「杵所資源保全班」（西予市）

- （１）認定農用地面積：24.51ha
（田：23.33ha、畑：1.18ha）
- （２）組織構成：
1集落（農家19戸、非農家1戸）
開水路：4.6km、パイプライン：4km
農道1.7km、ため池：4箇所



【組織の概要】

本組織は、平成19年設立後、農業従事者の高齢化が進み、新規就農者も少ない状況の中、地域住民の協力を得ながら、農道の草刈りや水路の泥上げ、景観形成のための植栽及び外来種の駆除など、様々な取組を継続的に実施しています。

このような中、特に力を入れているのが、地元小学校と連携し実施している農業体験学習で、小学5年生を対象に、田植えや稲刈り、餅つきなどを行っており、子供達に農業体験の機会をつくることで、農業の大切さや農村をとりまく自然環境の豊かさなどへの理解促進、地域や農業への意識の向上に貢献しています。また、本活動組織は、農業者と非農家の連携が取れており、地域一体となって農村環境を維持管理する体制が構築されています。

【主な取組内容】

○非農家を含む地域全体での保全管理

4月から9月下旬にかけて、集落内の管理施設である開水路・農道・ため池・ポンプ場の草刈り、開水路の泥上げ等を農家・非農家を含む地域全体での保全活動として実施しています。組織を立ち上げた際に自治会が構成員として加入し、多面の活動を機に非農家が共同活動に参加することになりました。

○景観形成、外来種駆除、小学校との連携による地域住民の交流

地域の子供の数はかなり減少してきていますが、地元の小学校と連携して田植え等の体験学習を継続して実施しています。また、地域の遊休農地を活用してコスモスの植栽を実施しており、ほ場の中心部で実施した際は、看板の設置や立地の良さから多くの人々が訪れました。また、毎年行うため池の中干作業に併せ、生態系に配慮したブルーギルなどの外来種駆除を実施しています。



水路の泥上げ



農業体験学習（田植え）



広報活動で看板の設置